

ごみは「ゴミ」でなく 「資源」である

ナビゲーター
中村 恵子
Keiko Nakamura

神戸市環境ボランティア「ゴミ減らし通信舎」



回収する先のことまでを考えて資源(ごみ)の回収を行っている有野台の現場



新聞・チラシ・雑誌と、種別にキッチンと分けることで、再び資源として利用されるようになる



中村さんをはじめ近所の主婦は、楽しみながら資源(ごみ)回収を行っている

